

公益財団法人日本アレルギー協会

関東支部

〒102-0074

東京都千代田区九段南 4-5-11

富士ビル4階

TEL 03-3222-3437

FAX 03-3222-3438

ホームページ

http://www.jaanet.org/aboutus/4_index_msg.html

関 東 支 部

だ よ り

第9号 (2011年1月発行)

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

昨年は相変わらず不況が続き、猛暑、国境でのトラブルなど様々の出来事がありました。

一方、当関東支部では、会員皆様のご協力で例年通り、アレルギー週間での市民講座の開催、研究支援、患者団体支援等の活動をおこなうことができました。本年度も引き続き、同様の活動をおこなう予定ですので、よろしくお願いたします。

さて、昨年9月1日に財団法人日本アレルギー協会は内閣府より公益財団法人として認可されました。これに関連し、協会理事会、関東支部役員会が開催されたので報告します。

本号は半年毎に発行していますが、早くも第9号となりました。

今回のトピックスとして 独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター 森 晶夫先生に昨年12月にドバイで開催された「国際アレルギー学会(WAO)国際科学会議」の報告をしていただきました。また例年通り、1～7月の各種アレルギー関連行事予定も掲載いたしました。

尚、行事予定資料の関係で発行が遅れたことをお断りします。

本年も当支部を含め日本アレルギー協会の活動のため会員皆様のご協力をよろしくお願いたします。

では皆様、本年もお元気で活躍ください。

関東支部長 伊藤 幸治

本号の目次	頁
1. 新年ご挨拶	1
2. 協会理事会、関東支部役員会報告	2～3
3. アレルギー週間講演会等について	3
4. トピックス 国際アレルギー学会(WAO)報告 森 晶夫	4～7
5. アレルギー協会主催・共催・後援の講演会 (山梨、長野県を含む関東地区 2011 年 1～7 月)	8
6. 患者団体講演会、集会 (同)	9～10
7. 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会 (日本アレルギー学会と同関 連学会) (2011 年 1～7 月)	11
8. (社) 日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会 (山梨、長野県 を含む関東地区 2011 年 1～7 月)	12～14
9. 公益財団法人日本アレルギー協会理事、監事、評議員	14
10. 関東支部役員会議事録 (平成 22 年 8 月 5 日)	15～17
11. 平成 22 年度関東支部評議員業務分担表	18
12. 平成 22 年度関東支部評議員県・地区別業務分担表	19

2. 協会理事会、関東支部役員会報告

協会理事会報告

平成 22 年 10 月 28 日、KKR ホテル東京で開催され、新しい定款の承認、役員人事 (第 14 頁参照) の承認がされました。

また、これまで協会は事業として①アボット ジャパン・アレルギー学術奨励賞、②国際交流助成金、③研究奨励賞、④研究助成、⑤アレルギーに関する諸学会との共催事業、等に対し助成をお

こなってきましたが、平成 22 年 4 月 1 日に解散した財団法人真鍋奨学財団（事務所は東京大学アレルギー・リウマチ内科内）より約 5,000 万円の寄付があり、これを基金として新たに「真鍋奨学助成」が設けられ年間 500 万円の助成が行われることになりました。

関東支部役員会報告

平成 22 年 8 月 5 日、東京會館にて開催され、本年度も例年通りの研究助成、アレルギー週間での一般向け講演会を推進することが承認されました。また役員会の構成について審議されました。

これまでの関東支部役員は関東支部正会員の選挙による理事 8 名、評議員 10 名と、役員会で関東支部事業推進に必要と思われる幹事の三者、計 25 名で構成されていました。公益財団法人日本アレルギー協会が発足すると関東支部選出の理事は 4 名（理事長以外は 3 名）、評議員は 4 名と激減することになりました。そこで宮本理事長より、各支部で事業推進のために必要な独自の評議員会を組織するようとの示唆がありました。役員会で審議した結果、結論としてこれまでの役員全員を関東支部評議員とすること、これまで役員が 1 人であった長野、山梨、埼玉各地区にそれぞれ 1 人を加えること、千葉地区事務局の先生にも評議員会に加わっていただくこと、などが承認されました。関東支部新評議員会はご異動などで辞退されたお 2 人を除き、計 27 名で構成することになりました（以上の詳細は第 15～19 頁ご参照）。

3. アレルギー週間行事について

協会理事会で平成 23 年 2 月 17 日（木）～23 日（水）が 2011 アレルギー週間「アレルギーの克服に向けて」と定められ 2 月 20 日はアレルギーの日となります。これに関連して、協会主催の一般向け中央講演会（2 月 19 日）、医師向け講演会、賛助会員向け講演会等が開催されます。

関東地区の一般向け講演会あるいは相談会が長野地区、山梨地区、埼玉地区、千葉地区、東京城東地区、神奈川地区で開催が予定されています。また患者会主催の行事も予定されています。以上の詳細は第 8 頁をご参照ください。関東地区での医師向け講演会の予定はありません。

4. トピックス 国際アレルギー学会 (WAO) 国際科学会議報告

独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター

森 晶夫

国際アレルギー学会 (WAO) は2年ごとに国際学会が開催されている。その傘下の国際科学会議と称する第一回の会議が、2010年12月5-8日、ドバイ (アラブ首長国連邦) において、50カ国から約1,500人の参加者を集めて開催された。会長をロッキー教授 (米国)、組織委員長をパワンカール教授 (日本) が務めた。欧米の著名な学者による招待講演とシンポジウムを主とする集会で、一般演題の発表は約180と多くはなかった。初日は臨床に直結したテーマで24の教育的コースが朝から夕方まで行われていた。はじめて中東で開催された国際アレルギーの学会のため、西、南アジア諸国、旧ソ連圏の東欧、中央アジア諸国や北アフリカ、トルコ、イラン、アラブ諸国からの参加者が普段の国際アレルギー学会に比較して格段に多く、これまではあまり目立たなかった多様な人種、民族の集いになっていた。北米と北・西ヨーロッパからの参加者がメインの国際学会では、向こうから見ればわれわれが異邦人と見られているかもしれないが、こちらはそう異邦人のなかにいるとの自覚はないが、今回は学会場でも休憩時間はかなりエキゾチックな印象だった。これら途上国においてもアレルギー疾患の増加が大問題となっていて、アレルギーを専門とする医師、研究者のネットワークは、日本人がグローバルと呼ぶ範囲をはるかに超えて広がっているようだ。ただ、招待講演者はわれわれがよく学会でみかける欧米の著名研究者で、きわめて効率よく最新の成果、動向について情報収集できたので、いくつかの話題について御紹介したい。アラブ首長国連邦のなかでは、ドバイ自体の石油産出量はたいして多くはないが、オイルマネーの集積地となっているドバイの一人あたり国内総生産は日本の約1.5倍だそうである (為替

レートによって変動する)。著者は中東を訪れたのははじめてで、高さ 828 m の世界最高ビル、バージュカリファの威容や、隣接する世界最大ショッピングモールの喧噪を眺め、ただ土地の下から石油がいくらでも湧いて出てくることの意味を目のあたりにすると、驚きとうらやましさを禁じ得なかった。勤勉さと高品質な製品輸出で成り立つ日本とは人生観も違ってくるはずだ、と。

GINA2009 で提唱された喘息コントロールとは、治療の成否を単に一秒率やピークフローといった呼吸機能数値上で判断するのではなく、患者 QOL に影響する諸要因を多角的に考慮する考え方で、提唱者の一人ベイトマン教授によると、現在の症状や治療薬の使用、日常生活の活動性、呼吸機能に加え、将来の増悪リスクや呼吸機能の経年的な低下、薬の副作用も含んだ概念とされる。よくコントロールされている患者の割合は、吸入ステロイドを使用しているにもかかわらず十分には高くない(約 55%) ことが、近年の大規模な症例登録調査の結果明らかになっている。そこで、喘息コントロールを妨げる要因としての、増悪因子・合併症の問題がとりあげられ、今学会のサブタイトルとして位置づけられていた。特に上気道の問題、すなわち鼻炎、副鼻腔炎、鼻ポリープと喘息悪化の関連は、従来から「one airway, one disease」として取り上げられてきたテーマでもある。重症喘息の解決に向けては、まず喘息の診断が正しいか、次いでコンプライアンスについて考慮すべきであるが、その後種々の合併症・増悪因子について探索し、可能な限り解決を図っていくことが重要とされる。治療抵抗性については、多くのケースでは相対的なもので、絶対的な治療抵抗性はまれといわれていた。

今学会で話題になっていたもう一つのテーマは、喘息のフェノタイプである。喘息は一つの疾患ではなく、多数の疾患からなる症候群だというのは、古くからある考え方である。最近になって抗ロイコトリエン薬をはじめとする種々の抗喘息薬に、レスポンドー（よく効く患者）とノンレスポンドー（効かない患者）が存在するとの事実や、喘息一般を対象としては有効性が証明されなかった抗 IL-5 抗体が、ステロイド抵抗性の好酸球性喘息患者に限っては、急性増悪を半減で

きるほど有効だったとの報告を受けて、再び注目されるようになった。米国アレルギー学会、米国呼吸器学会、欧州呼吸器学会と NIH からなる喘息フェノタイプ作業部会は、特に新薬の臨床試験にエントリーされた喘息症例のフェノタイプを明確に区別していく目的に、以下の9つのフェノタイプを定義している。トリガーとなる因子により、1. アレルギー性喘息、2. 非アレルギー性喘息、3. アスピリン喘息、4. 感染により誘導される喘息、5. 運動誘発喘息、臨床像により、6. 幼児の前喘息期喘鳴、7. 増悪をおこしやすい喘息、8. 不可逆的気流閉塞を伴う喘息、炎症マーカーより、9. 好酸球性および好中球性喘息、の9つである。現時点では、臨床試験の対象症例は、医師により診断された喘息患者とか、可逆性が12%以上、RAST、皮膚テストが1個以上陽性などと記述されるに留まっているが、これら9つのフェノタイプのどれに属する症例かが記述されれば、異なる研究をより適切に比較できるようになる。相互にオーバーラップもするし、すべてを網羅できているわけでもないが、今後さらに洗練されていくことが期待される。ただし、この従来型のフェノタイプは、経験則に基づく、人為的なバイアスのあるアプローチと呼ばれ、すこし旗色が悪い。

より最近では、数百人規模の喘息患者の臨床マーカー（一人あたり数十ないし数百）を登録し、無作為的にコンピューター処理することで、喘息患者を5~6個のグループ（クラスターと呼ばれる）にフェノタイプ分類できたとの報告が相次いでなされている。こちらのフェノタイプは、バイアスのない、仮説を建設するアプローチと称されている。NIH を中心とする重症喘息研究グループでは、重症喘息者とその対照としての軽症喘息者計728名のデータベースから、1. 軽症アトピー型、2. 軽症ないし中等症アトピー型、3. 遅い発症の非アトピー型、4. 重症アトピー型、5. 非可逆的気流閉塞をともなう重症喘息の5つのクラスターを提唱した。ベースラインの一秒量、気管支拡張剤投与後の一秒量、発症年齢のたった3つの要素で分類が可能とっている。このグループは2000年に米国呼吸器学会の重症喘息の定義を提唱したが、2009年により簡略化し、喘息

コントロールを得るために高用量の吸入ステロイド（フルチカゾン換算 1000 μg /日以上）ともう1剤のコントローラーを使用する必要がある症例、またはこれらの使用にもかかわらずコントロールできない症例を重症喘息と呼ぶことになった。

2008年に英国グレンフィールド病院のグループが報告した約400症例のクラスター解析では、1. 良性喘息、2. 早期発症アトピー型、3. 肥満の非アトピー型、4. 早期発症の症状優位型、5. 炎症優位型の5つのクラスターを提唱した。このうち、1, 2は炎症と症状の程度が相応なタイプ、3, 4は炎症の程度の割に症状が強いタイプ、5は炎症が強いが症状は軽いタイプとされた。人間の頭脳でなく、コンピュータに基づき、先入観にとらわれないために、人為的なバイアスがかからないとされるアプローチからは、喘息のそれぞれのフェノタイプが、各々異なるメカニズムから発症しているに違いないので、そのメカニズムにつながる洞察が得られるものと期待されている。2つの英米での解析は、ほぼ同等の重症喘息患者とその対照としての軽症患者をリクルートしているので、結果は似ているようにも見えるが、必ずしも一致していないのはどういう訳なのか？最終的にいかなるモデルで説明可能かは、そもそもインプットされたデータ（マーカー）に依存する訳なので、今後の研究の結果、より本質的なマーカーが見出された際には、モデル自体が大きく変わる可能性が考えられる。

5. アレルギー協会主催・共催・後援の講演会（山梨、長野県を含む関東地区 2011年1～7月）

* 一般向け

主催・共催 ・後援の別	日 時	テーマ・内容	場 所	主 催 者
主催*	2月19日（土） 13：00～17：00	第17回アレルギー週間中央講演会 ～アレルギーの克服に向けて～ 「アレルギー疾患の予防と治療、自己管理を含め」 講演とパネルディスカッション 秋山一男（総合司会）、江藤隆史（アトピー性皮膚炎）、栗原和幸（食物アレルギー）、岡本美孝（花粉症）、大田 健（成人喘息）、赤澤 晃（小児喘息）	九段会館 千代田区九段南1-6-5 東京メトロ東西線、半蔵門線、都営新宿線九段下駅4番出口徒歩1分	日本アレルギー協会 <u>要申込</u> 参加申し込み方法は日本アレルギー協会ホームページ参照 お問い合わせ先： 第17回アレルギー週間中央講演会事務局 TEL 03-5159-7750 FAX 03-5159-7760
主催*	2月5日（土） 13：00～15：30	アレルギー週間市民公開講座2011	埼玉医科大学 かわごえクリニック/川越市	日本アレルギー協会 （埼玉地区責任者 永田 真）
主催*	2月6日（日） 13：00～16：00	千葉ブロック千葉地区市民公開講座と相談会「アレルギー疾患の克服に向けて～食物アレルギーと花粉症の正しい知識」	京成ホテルミラマーレ/千葉市	日本アレルギー協会 （千葉地区責任者 西牟田敏之）
主催*	2月6日（日） 14：00～16：00	山梨アレルギー市民フォーラム2011	山梨大学玉穂キャンパス臨床小講堂/中央市	日本アレルギー協会 （山梨地区責任者 増山 敬祐）
主催*	2月19日（土） 13：00～16：50	信州アレルギー市民フォーラム2011	松本文化会館1F 中ホール/松本市	日本アレルギー協会 （長野地区責任者 久保 恵嗣）
主催*	2月20日（日） 14：00～16：00	アレルギー患者相談会 「アレルギー疾患の予防、治療法をより良く知るために」	横浜新都市ビル（そごう）9階市民フロアミーティングルーム	日本アレルギー協会 （神奈川地区責任者 秋山 一男）
主催*	2月26日（土） 14：00～17：00	東京中央・城東地区講演会「花粉症に伴うアレルギー疾患の治療について ～耳鼻科・眼科・皮膚科より～」	日本医科大学橋桜会館/東京都文京区	日本アレルギー協会 （東京中央・城東地区責任者 佐野 靖之）
主催*	3月13日（土） 12：00～15：30	千葉ブロック東部地区市民公開講座 「アレルギー・アトピーの克服に向けて～花粉症とぜん息を一緒に考えましょう～」	成田市保健福祉館	日本アレルギー協会 （千葉地区責任者 西牟田敏之）

6. 患者団体講演会、集会（山梨、長野県を含む関東地区 2011年1~7月）

会員以外の方でも自由に参加できます

日 時	会 名	会 場	主催団体、連絡先
1月16日(日) 13:00~16:00	[新年特別講演会] 第1部 熟練患者認定授与式 第2部 講演 1. 「脳と行動変容」須甲松信(東京芸術大学健康保健センター 教授) 2. 「呼吸体操」田中一正(昭和大学富士吉田教育部 教授) 参加費 500円	赤坂区民センター 第1会議室 東京都港区赤坂4-18-13 赤坂コミュニティーぶらざ内 TEL 03-5413-2711 FAX 03-5413-2714	NPO 法人 環境汚染等から呼吸器病患者を守る会(通称:エパレク) 事務局 http://eparec.com/ E-mail: eparec@nifty.com TEL 03-6272-9413
2月10日(木) 10:00~12:00	第1回勉強会 (事前申込:必要) 「ピークフローメーターでの自己管理とお手入れ方法」 サポート:医療関係者、資料配布あり。	国立病院機構相模原病院内 旧看護学校第2会議室	NPO 法人 相模原アレルギーの会 http://allergy-net.web.infoseek.co.jp/kanja/ E-mail:allergy-net@jcom.home.ne.jp 事務所 TEL 042-745-8801
2月11日(金・祝日) 13:00~16:00	「アレルギーの最新情報」齋藤博久(国立成育医療センター研究所免疫アレルギー研究部部長) (その他の演者・未定)	青山こどもの城: http://www.kodomo-shiro.or.jp 渋谷区/表参道駅下車すぐ	NPO 法人アレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」 http://www.allergypot.net E-mail:info@allergypot.net TEL 090-4728-5421
2月26日(土)~27日(日) 13:00~16:00 26日(土) ぜんそく 27日(日) アトピー性皮膚炎	第17回アレルギー週間協賛行事:ぜんそく・アトピー性皮膚炎実践講座及び交流会 (事前申込:必要)	NPO 法人日本アレルギー友の会事務所(都営新宿線・半蔵門線住吉駅、JR 錦糸町駅より都バス「住吉駅前」下車徒歩3分)	NPO 法人 日本アレルギー友の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00~16:00) FAX 03-3634-0850 E-mail:j-allergy@nifty.com http://www.allergy.gr.jp/
3月5日(土) 9:00~12:00	第5回「アナフィラキシー親子のための懇談会」 今井孝成(国立病院機構相模原病院小児科医師) ・先着30名、資料代等実費500円	ヨコハマジャスト1号館 8F 会議室3号室 横浜市西区高島2-12-6 TEL045-441-8857 JR 横浜駅東口徒歩3分	NPO 法人アレルギーを考える母の会 http://www.hahanokai.org/ FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp

5月22日(日) ぜんそく・アトピーの講演会とQ&A 12:30~16:00(予定)	講演会とQ&A 《ぜんそく・アトピー性皮膚炎最新治療》 「成人ぜんそく」講師:未定 「アトピー」京都府立医科大学皮膚科教授 加藤則人先生 「Q&A司会」 坂本芳雄(関東中央病院呼吸器内科部長) 江藤隆史(東京通信病院皮膚科部長) (事前申込:必要)	東医健保会館(東京都新宿区) TEL 03-3353-4311 JR 信濃町駅下車徒歩5分	NPO 法人 日本アレルギー友の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00~16:00) FAX 03-3634-0850 E-mail:jallergy@nifty.com http://www.allergy.gr.jp/
5月28日(土) 12:30~16:00(予定)	講演会 「成人の食物アレルギー」講演 「小児ぜん息」講演 相談会 成人・小児・耳鼻(予定)個別に分かれての相談 (講師等、未定) (事前申込:必要)	国立病院機構相模原病院 北隣 神奈川障害者職業能力開発校 小田急線「小田急相模原」駅下車徒歩15分	NPO 法人 相模原アレルギーの会 http://allergy-net.web.infoseek.co.jp/kanja/ E-mail:allergy-net@jcom.home.ne.jp 事務所 TEL 042-745-8801
毎週火・土曜日 (祝日を除く) 11:00~16:00 毎月第3土曜日 13:00~15:00	患者による療養相談 当会ベテラン患者相談員が相談に応じます。(電話・来所) 患者交流会(ぜんそく・アトピー性皮膚炎) (事前申込:必要)	NPO 法人日本アレルギー友の会事務所(都営新宿線・半蔵門線住吉駅、JR 錦糸町駅より都バス「住吉駅前」下車徒歩3分)	NPO 法人 日本アレルギー友の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00~16:00) FAX 03-3634-0850 http://www.allergy.gr.jp/ E-mail:jallergy@nifty.com
毎月第2土曜日 1月と8月はお休み。 13:00~16:00 (月によって変更の場合がありますので、参加希望の方はエパレクHPをご覧ください)	ぜん息を自己管理するための学習会 (事前申込:必要)	港区高輪コミュニティーふらざ内3階 高輪区民センター 地下鉄南北線・三田線「白金高輪」駅下車、1番出口 (駅の真上です。)	NPO 法人 環境汚染等から呼吸器病患者を守る会(通称:エパレク) 事務局 http://eparec.com/ E-mail: eparec@nifty.com TEL 03-6272-9413
毎月第4火曜日(祝日も開催) 10:00~12:00	アレルギー相談・患者交流会 「ちょっと chat の会」 どなたでもお気軽に。出入り自由です。 (事前申込:不要)	かながわ県民センター 15階 セルフヘルプ相談室1 (「横浜」駅西口徒歩5分 横浜市鶴屋町2-24-2) TEL045-312-1121(内 3501) FAX 相談 045-312-6307	NPO 法人アレルギーを考える母の会 http://www.hahanokai.org/ FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp
毎月1回・不定期 (HPでお知らせします) 9:30~11:30	しゃべり場/自由が丘: 入退場は自由。初歩的質問、大歓迎です。 (事前申込:不要)	目黒区緑ヶ丘文化会館第2研修室(変更あり)	NPO 法人アレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」 http://www.allergypot.net E-mail:info@allergypot.net TEL 090-4728-5421

7. 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会（日本アレルギー学会と同関連学会）（2011年1~7月）

以下は社団法人日本アレルギー学会の許可を得て、同会誌「アレルギー」2010年12月号（59巻12号）1648-1659頁、会報「専門医制度情報 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会開催予定（2011年・国内）」およびインターネット同学会公式サイト「社団法人日本アレルギー学会：専門医制度にかかわる各種開催案内」より1~7月の日本アレルギー学会と同関連学会（*）のみ抜粋して掲載した。

回	会名	会期	会場	担当施設・連絡先	会長・TEL
29 *	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2月10日(木)~12日(土)	全日空ホテルオアシスタワー（大分県）	大分大学医学部耳鼻咽喉科学講座 大分県由布市挾間町医大ケ丘1-1 (事務局) 渡辺哲生	鈴木正志
51 *	日本呼吸器学会	4月22日(金)~24日(日)	東京国際フォーラム	久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門 福岡県久留米市旭町67	相澤久道 0942-35-3311 (代表)
55 *	日本リウマチ学会総会	4月24日(日)~27日(水)	グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール	東邦大学医学部整形外科学教室 東京都大田区大森西6-11-1(本部事務局) 03-3762-4151 (Ext:6635)	勝呂 徹
23	日本アレルギー学会春季臨床大会	5月14日(土)~15日(日)	幕張メッセ(千葉)、ホテルニューオータニ幕張	千葉大学大学院医学研究院小児病態学 〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1 Tel:043-226-2144 (医局) Fax:043-226-2145	河野陽一
39 *	日本アレルギー学会専門医教育セミナー	5月15日(日) 13:30~16:45	幕張メッセ(千葉)	(社)日本アレルギー学会 〒110-0005 東京都台東区上野1-13-3	03-5807-1701
42 *	日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会	6月3日(金)~4日(土)	名古屋国際会議場	藤田保健衛生大学医学部耳鼻咽喉科 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ケ窪1-98 (事務局) 櫻井一生、岩田義弘	内藤健晴 0562-93-9291
28 *	日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会	6月4日(土)~5日(日)	横浜シンポジア	東海大学医学部専門診療学系小児科学(事務局) 新村文男、平井康太	望月博之 0463-93-1121 (Ex2271)
41 *	日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会	7月16日(土)~17日(日)	甲府富士屋ホテル	山梨大学大学院医学工学総合研究部皮膚科学講座 山梨県中央市下河東1110番地(事務局) 川村龍吉	島田眞路 055-273-9856

8. 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会（山梨、長野県を含む関東地区 2011年1月～7月）

以下は社団法人日本アレルギー学会の許可を得て、同会誌「アレルギー」2010年12月号（59巻12号）1648-1659頁、会報「専門医制度情報 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会開催予定（2011年・国内）」およびインターネット同学会公式サイト「社団法人日本アレルギー学会：専門医制度にかかわる各種開催案内」より山梨、長野県を含む関東地区1～7月分を抜粋して転載した。（*は関連学会）

回	会名	会期	会場	担当施設・連絡先	会長・TEL
8	西関東アレルギーカンファレンス	1月8日（土） 16:30～18:30	京王プラザホテル東京42階「高尾」	北里大学大学院医療系 〒228-8555 神奈川県相模原市北里1-15-1	野間 剛
15	アレルギー臨床懇話会	1月22日（土） 15:00～17:00（予定）	国立成育医療研究センター1階講堂	国立成育医療研究センター アレルギー科 〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1	大矢幸弘 03-3416-0181 医療連携室
8	アレルギー性鼻炎フォーラム2011	1月29日（土） 16:00～18:00	ホテルニューオータニ「鶴西の間」	新橋アレルギーリウマチクリニック 〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル	奥田 稔 03-3591-5464
32	吸入療法研究会	1月29日（土） 13:00～18:00	ベルサール八重洲	和歌山県立医科大学内科学第三講座 〒641-8509 和歌山県和歌山市紀三井寺811-1	田村 弦 073-441-0619
9	埼玉アレルギー研究会	2月2日（水） 19:00～21:15	サンシティ越谷	獨協医科大学越谷病院耳鼻咽喉科 〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷2-1-50	渡邊建介 048-965-1111
37	埼玉喘息・アレルギー研究会	2月5日（土） 14:40～18:25	埼玉県県民健康センター	埼玉医科大学呼吸器内科 〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38	金澤 實 049-276-1111
20	城東地区小児アレルギー懇話会	2月5日（土） 17:00～19:00	第一ホテル両国	（未定）	（未定）
9	横浜小児アレルギー研究会	2月9日（水） 19:00～21:00	崎陽軒本店	神奈川県立こども医療センターアレルギー科 〒232-8555 神奈川県横浜市南区六ツ川2-138-4	栗原和幸 045-711-2351
19	関東アレルギークラブ	2月12日（土） 15:00～	ベルサール八重洲	（独）国立成育医療研究センター研究所 〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1	（当番世話人） 斎藤博久 03-3416-0181
19	長野県気管支喘息研究会	2月12日（土） 15:45～18:15	諏訪市ホテル紅や	信州大学医学部内科学第一講座 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1	久保恵嗣 0263-37-2629

11	食物アレルギー研究会	2月19日(土) 9:00~18:30	昭和大学上條講 堂	国立病院機構相模原病院内 第 11回食物アレルギー研究会事務 局 〒252-0392 神奈川県相模 原市南区桜台 18-1	柴田瑠美子 042-742-8311
28	多摩小児アレルギー臨床懇話会	3月5日(土) 15:00~18:00	日本医科大学附 属多摩永山病院 C棟2階集会室	山口小児クリニック 〒195-0063 東京都町田市野津 田町 1364	飛田正俊
8	日本喘息・COPD フォーラム/ Japan Asthma COPD Management Forum (JASCOM)	3月5日(土) 15:00~18:30	東京プリンスホ テル	JASCOM 事務局 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 2-9 カスヤビル 1F (株) プラップジ ャパン内 TEL:03-3486-5961	
64	横浜市アレルギー懇話会	3月9日(水) 19:00~(予定)	横浜市崎陽軒本 店	神奈川県立循環器呼吸器病セン ター 〒236-0051 神奈川県横 浜市金沢区富岡東 6-16-1	呼吸器科部長 高橋 宏 045-701-9581
19	東京城南喘息・アレルギー研究会	3月	(未定)	昭和大学医学部呼吸器・アレル ギー内科 〒142-0064 東京都 品川区旗の台 1-5-8	足立 満 03-3784-8661
8	Airway Club 埼玉	4月6日(水) 19:00~21:00	大宮パレスホテ ル	(事務局) 獨協医科大学越谷病院耳鼻咽喉 科 〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50	(代表者) 三輪正人 048-965-1111
5	小児アレルギー初期治療研究会	4月29日(金) 10:00~13:00	東京ステーショ ンコンファレン ス(東京駅サピ アタワー6階)	北里大学大学院医療系研究科小 児科学 〒228-8555 神奈川県 相模原市北里 1-15-1	野間 剛 042-778-8111
7	城南小児アレルギー懇話会	4月	目黒雅叙園	(事務)(財)東京都保健医療公 社荏原病院小児科 松井猛彦 〒146-0065 東京都大田区東雪 谷 4-5-10	松橋家頭夫 (昭和大学小児 科) 03-3784-8000
10	信州喘息・COPD勉強会	4~5月の(土)(予 定)	長野市内ホテル (予定)	信州大学医学部内科学第一講座 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1	久保恵嗣 0263-37-2629
37	耳鼻咽喉科アレルギー懇話会	5月15日(日)	幕張メッセ 展示ホール内	日本臨床アレルギー研究所 〒105-0004 東京都港区新橋 2-16-1 ニュー新橋ビル	奥田 稔 03-3591-5464
13	小児免疫リウマチ研究会	5月27日(金) 19:00~	八重洲富士屋ホ テル	相模原協同病院小児科 〒252-5188 神奈川県相模原市 緑区橋本 2-8-18	(当番世話人) 佐伯敏亮

25	アレルギー・好酸球研究会 2011	6月18日(土) 9:00~17:00 (予定)	大手町サンケイ プラザ	(事務局分室) (株) グラフテイ 内 〒107-0052 東京都港区赤 坂 2-20-2 ベル赤坂 1 階 TEL:03-3583-1740	大野 勲 (東北薬科大学 病態生理学教室)
30	漢方免疫アレルギー研究会	6月25日(土) 13:00~18:00 (予定)	東京コンファ レンスセンター品 川	(未定)	福地義之助
20	小児臨床アレルギー懇談会	6月25日(土)	(未定)	横浜市立みなと赤十字病院小児 科 〒231-8682 神奈川県横浜市中 区新山下 3-12-1	川野 豊 045-628-6100
34	臨床アレルギー懇話会	6月30日(木) 又は 7月7日(木) 18:30~20:00	東京慈恵会医科 大学会議室	(当番世話人) 東京慈恵会医科 大学 中山勝敏 〒105-8471 東京都港区西新橋 3-19-18 TEL:03-3433-1111	松脇由典 03-3433-1111
33	吸入療法研究会	7月9日(土) 13:00~18:00	ベルサール八重 洲	和歌山県立医科大学内科学第三 講座 〒641-8509 和歌山県和 歌山市紀三井寺 811-1	田村 弦 073-441-0619
67	臨床アレルギー研究会 (関東)	7月23日(土)	富国生命ビル28 階	(未定)	(未定)
21	城東地区小児アレルギー懇話会	7月	(未定)	(未定)	(未定)

9. 公益財団法人日本アレルギー協会理事、監事、評議員 (平成22年9月1日)

	理事長 宮本 昭正	
北海道	理事 大野 重昭 (支部長)	評議員 有賀 正
東北	同 田村 弦 (支部長)、山内 広平	同 高梨 信吾、棟方 充
北関東	同 福田 健 (支部長)	同 土橋 邦生
関東	同 伊藤 幸治 (支部長) 秋山 一男、足立 満	同 大久保公裕、大田 健 岡本 美孝、西牟田敏之
東海	同 高木 健三 (支部長)	同 近藤 直実
北陸	同 真弓 光文 (支部長)	同 藤村 政樹
関西	同 川瀬 一郎 (支部長)、東田 有智	同 末廣 豊、竹中 洋
中国	同 高橋 清 (支部長)	同 秀 道広
四国	同 曾根 三郎 (支部長)	同 大串 文隆
九州	同 西間 三馨 (支部長)	同 相澤 久道
本部	同 今村 聡、松田 譲	
	監事 岩本逸夫、河野 陽一	

ほかに評議員選定委員会委員として関東支部より 森田 寛

10. 関東支部役員会議議事録

1 日時 平成22年8月5日(木) 18時30分から20時

2 場所 LEVEL XXI東京會館

3 出席者 伊藤 幸治 大田 健 大久保公裕 久保 恵嗣
坂本 芳雄 佐野 靖之 森田 寛 山口 正雄

4 議長 支部長 伊藤 幸治

支部長から、幹事26名中出席者は8名、欠席者は18名、うち17名から委任状をいただ
いており、会議は成立する旨の宣言があった。

5 議事

I 報告事項

(1) 公益財団法人への移行について

支部長から次のような報告があった。

昨年12月に内閣府あてに申請を行い、ヒアリングが続いていたが9月に認定の可能性が
高くなった。理事、評議員の任期は終わったが、認定まで延長となった。理事、監事は日
本アレルギー学会との兼任が3分の1を超えてはならないことになっており、監事に変更
があつて河野先生と岩本先生が選出された。

事務局から次のような補足があった。移行の登記は9月1日を予定しており、8月31日
現在で旧法人の決算を行い、9月1日から新法人となるので今年度に限り決算を2回行う
こととなる。

(2) 支部長選挙結果

支部長から資料1に基づいて報告があった。

(3) 評議員選挙結果報告

支部長から資料2に基づいて報告があった。

(4) 理事会報告

支部長から資料3に基づいて第17回アレルギー週間行事について報告があった。

II 審議事項

(1) 平成21年度事業概要報告

支部長から資料4に基づいて説明があり承認となった。

(2) 平成21年度収支決算報告

事務局から資料5に基づいて説明があった。

年度末の大口の寄付で繰越が増えたが、2千万円を特定資産に積み立てて内部留保は470%となった。しかし、協会全体では24.5%となり厚生労働省の指導はクリアできた。

斎藤博久先生から監査報告書をいただいたので資料とした。

収支決算報告は承認となった。

(3) 平成22年度事業計画

支部長から資料6に基づいて説明があり承認となった。

(4) 平成22年度収支予算

事務局から資料7に基づいて説明があり承認となった。

内部留保は大幅に下がる見込みである。

(5) 関東支部役員会（仮称「関東支部評議員会」）について

支部長から資料8に基づいて説明があり承認となった。

- ・9月の新法人移行までは現在の26名の役員とする。
- ・新法人移行後は、上記第1案のほか、新理事、新評議員、新監事で必要メンバーを選定する第2案の提示があり、審議の結果第1案とすることとした。

- ・埼玉県は1名なので永田 真先生から推薦があれば役員になってもらう。
- ・長野県は藤本圭作先生に役員になってもらう。
- ・千葉県は事務局長を中島裕史先生としているので、推薦があれば役員になってもらう。
- ・会の名称について、役員は支部評議員とし、役員会は関東支部評議員会とすることが承認となった。

(6) 平成22年度役割分担

研究助成委員会審査部会は、溝口昌子先生のご意思を確認するため保留とし、ほかの委員は留任とすることが承認された。なお、西岡 清先生はご異動があり、関東支部評議員を辞退された。

Ⅲ その他

(1) 平成21年度個人会員状況

事務局から資料10に基づいて説明があった。

(2) 関東支部だよりの発行について

支部長から次のような説明があった。

6月に第8号を発刊した。広告を集めて発行する案もあったが現状で発行したい。

(3) 支部長から次のような報告があった。

東京大学アレルギー・リウマチ内科内に事務所のあった真鍋奨学財団が解散し、半分の約5千万円を協会に寄付してもらった。真鍋奨学助成として今年から募集を開始することとなった。

以上を以って議事を終了し支部役員会は閉会となった。

11. 平成22年度関東支部評議員業務分担表

学術講習委員会	研究助成委員会		関東支部だより 編集委員会	庶務・会計
	委員会	審査部会		
◎ 富岡 玖夫	◎ 秋山 一男	◎ 秋山 一男	◎ 伊藤 幸治	斎藤 博久
○ 足立 満	○ 岡本 美孝	○ 岡本 美孝	○ 山口 正雄	
秋山 一男	足立 満	足立 満		
坂本 芳雄	伊藤 幸治	伊藤 幸治		
佐野 靖之	大田 健	河野 陽一		
塩原 哲夫	久保 惠嗣	富岡 玖夫		
鈴木 直仁	栗原 和幸			
増山 敬祐	河野 陽一			
	富岡 玖夫			
	森田 寛			
	山口 正雄			

◎印 委員長

○印 副委員長

12. 平成22年度関東支部評議員およびJAANet編集委員 都・県・地区別担当表

県・地区	担 当 地 域	地区別責任者 (研修会責任者)	啓発活動委員会委員 (アレルギー週間地区 代表委員)	支部JAANet編 集委員
関東支部	関東全域			永田 真
東京 中央・城東地区	千代田区、中央区、港区、文京区、足立区、 江戸川区、葛飾区、江東区、墨田区	佐野 靖之	佐野 靖之 大久保公裕 久松 建一 森田 寛	森田 寛
東京 城西・城南地区	新宿区、杉並区、豊島区、中野区、大田区、 渋谷区、品川区、世田谷区、目黒区	足立 満	足立 満 斎藤 博久 坂本 芳雄	斎藤 博久
東京 城北・多摩地区	荒川区、板橋区、北区、台東区、練馬区 東京都23区以外の市町村	大田 健	大田 健 塩原 哲夫 鈴木 直仁 眞野 健次 山口 正雄	鈴木 直仁
埼玉県	埼玉県内全域	永田 真	永田 真 飯野ゆき子	倉島 一喜
千葉県	千葉県内全域	西牟田敏之	西牟田敏之 岩本 逸夫 岡本 美孝 河野 陽一 富岡 玖夫 中島 裕史	岩本 逸夫
神奈川県	神奈川県内全域	秋山 一男	秋山 一男 池澤 善郎 海老澤元宏 栗原 和幸	長谷川眞紀
山梨県	山梨県内全域	増山 敬祐	増山 敬祐	松崎 全成
長野県	長野県内全域	久保 恵嗣	久保 恵嗣 藤本 圭作	藤本 圭作